

# (一社)北海道商工会議所連合会 中小企業景況調査報告書

## 第172回 調査概要

- ・調査対象期間 : 2023年10~12月期 実績  
2024年1~3月期 見通し
- ・回答数 : 364社
- ・発行日 : 2024年1月31日

### 今期業況・来期見通し

業況・売上は3期ぶりに悪化し、先行きも悪化の予想。採算は横ばいを維持。人手不足感は4期連続で強まり、コロナ禍以前の水準に達する。

#### ■主なコメント

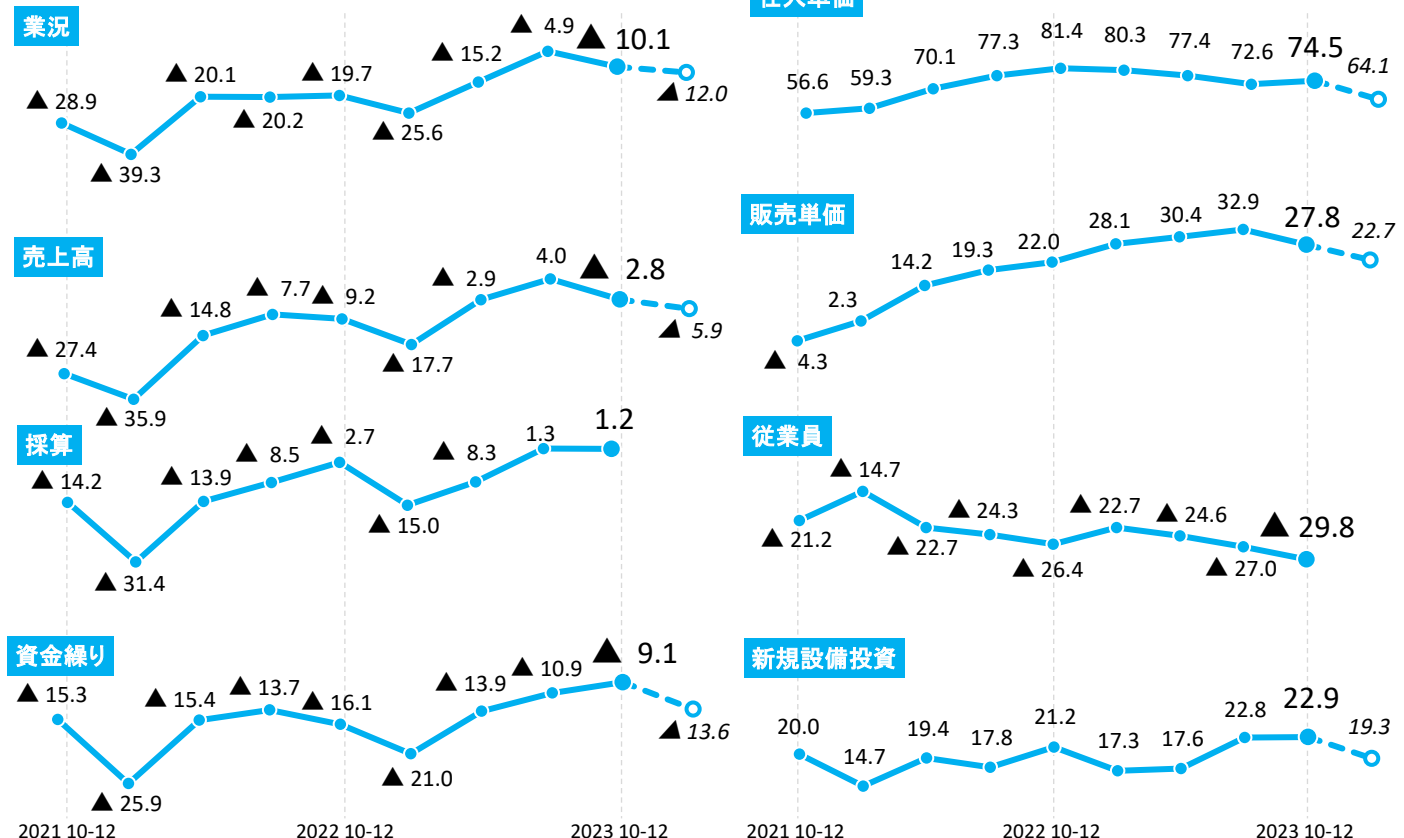
- ・利用客は戻ってきているが、燃料高騰・最低賃金の引き上げ、ドライバー不足などの課題があり、収支の改善には至っていない。  
(一般乗用旅客業)
- ・前年よりは稼働していると感じるが、その割に売上は伸びていない。経費は上がっているが、その全てを価格転嫁できていない状況にある。  
(産業用機械器具賃貸業)
- ・繁華街は回復などしていない。21時以降は全く人がおらず、平日は12月とは思えない状況。繁盛店も回転数はコロナ前より落ちている。タクシー不足やビルの老朽化などもあり、見通しは暗い。  
(飲食業)

#### ■全産業D・I

	2021 10-12	2022 1-3	2022 4-6	2022 7-9	2022 10-12	2023 1-3	2023 4-6	2023 7-9	2023 10-12	2024 1-3(見通)
業況(前年同期比)	▲ 28.9	▲ 39.3	▲ 20.1	▲ 20.2	▲ 19.7	▲ 25.6	▲ 15.2	▲ 4.9	▲ 10.1	▲ 12.0
売上高(前年同期比)	▲ 27.4	▲ 35.9	▲ 14.8	▲ 7.7	▲ 9.2	▲ 17.7	▲ 2.9	4.0	▲ 2.8	▲ 5.9
採算(今期の経常損益)	▲ 14.2	▲ 31.4	▲ 13.9	▲ 8.5	▲ 2.7	▲ 15.0	▲ 8.3	1.3	1.2	-
資金繰り(前年同期比)	▲ 15.3	▲ 25.9	▲ 15.4	▲ 13.7	▲ 16.1	▲ 21.0	▲ 13.9	▲ 10.9	▲ 9.1	▲ 13.6
仕入単価(前年同期比)	56.6	59.3	70.1	77.3	81.4	80.3	77.4	72.6	74.5	64.1
販売単価(前年同期比)	▲ 4.3	2.3	14.2	19.3	22.0	28.1	30.4	32.9	27.8	22.7
従業員(今期の過不足)	▲ 21.2	▲ 14.7	▲ 22.7	▲ 24.3	▲ 26.4	▲ 22.7	▲ 24.6	▲ 27.0	▲ 29.8	-
新規設備投資した割合	20.0	14.7	19.4	17.8	21.2	17.3	17.6	22.8	22.9	19.3

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。

○ 来期見通



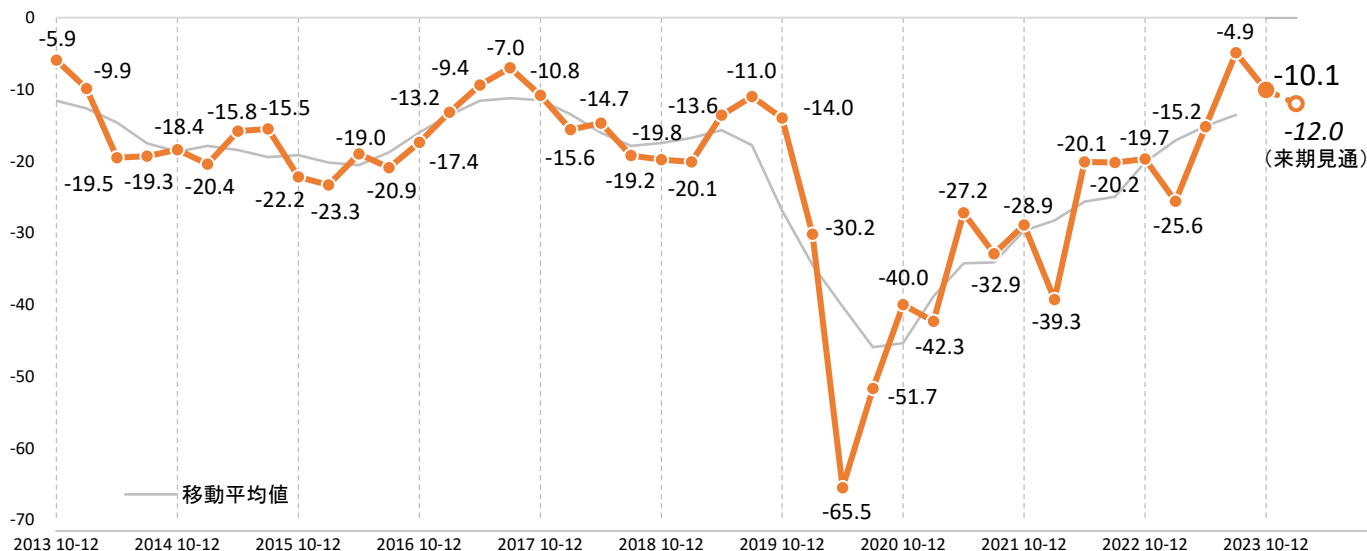
# I. 業況

## 1. 今期

前年同期比

(2022年10~12月期の水準と比較した今期の業況)

全業種平均D・I 《好転—悪化》



業種別D・I値

	今回	内訳			前回
全業種	▲ 10.1	16.9%	56.1%	27.0%	▲ 4.9
製造	▲ 21.1	17.5%	43.9%	38.6%	▲ 6.9
建設	▲ 15.3	9.7%	65.3%	25.0%	▲ 15.8
卸売	▲ 1.7	16.9%	64.5%	18.6%	▲ 1.7
小売	▲ 9.1	19.7%	51.5%	28.8%	0.0
サービス	▲ 3.0	20.8%	55.4%	23.8%	0.0

■好転 □不変 ■悪化

前期比

(2023年7~9月期の水準と比較した今期の業況)

業種別D・I値

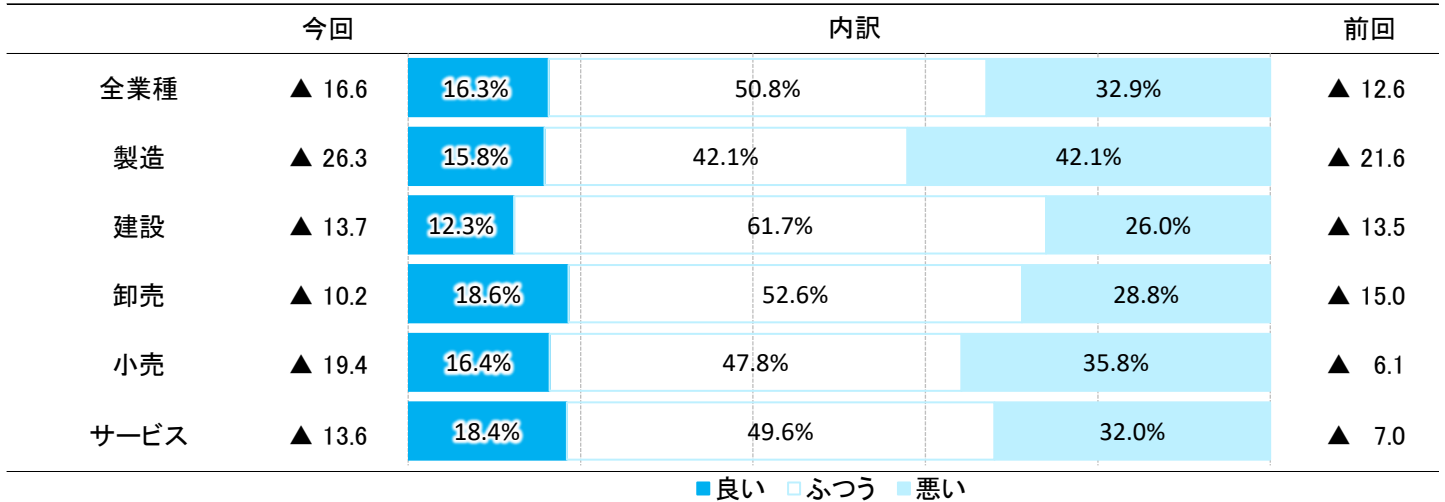
	今回	内訳			前回
全業種	▲ 7.1	14.9%	63.1%	22.0%	▲ 8.5
製造	▲ 16.6	13.0%	57.4%	29.6%	▲ 16.9
建設	1.4	15.3%	70.8%	13.9%	▲ 6.8
卸売	▲ 10.5	12.3%	64.9%	22.8%	▲ 5.1
小売	▲ 4.5	18.2%	59.1%	22.7%	▲ 9.4
サービス	▲ 5.3	15.8%	63.1%	21.1%	▲ 4.3

■好転 □不変 ■悪化

今期の水準

(2023年10~12月期の水準)

業種別D・I値

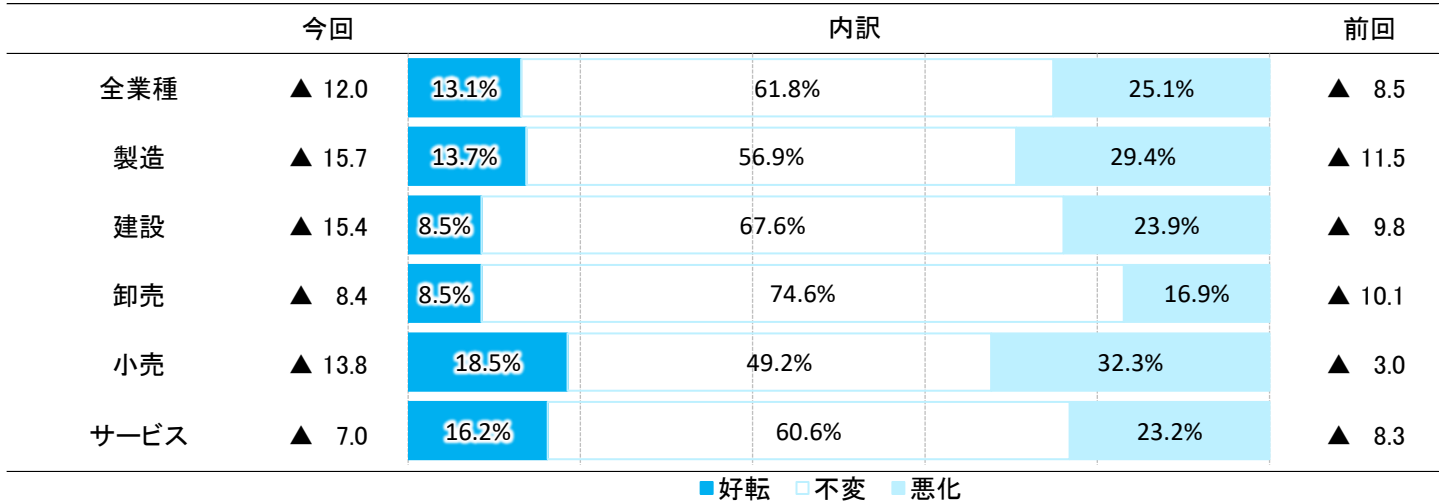


2. 来期

前年同期比

(2023年1~3月期の水準と比較した来期の見通し)

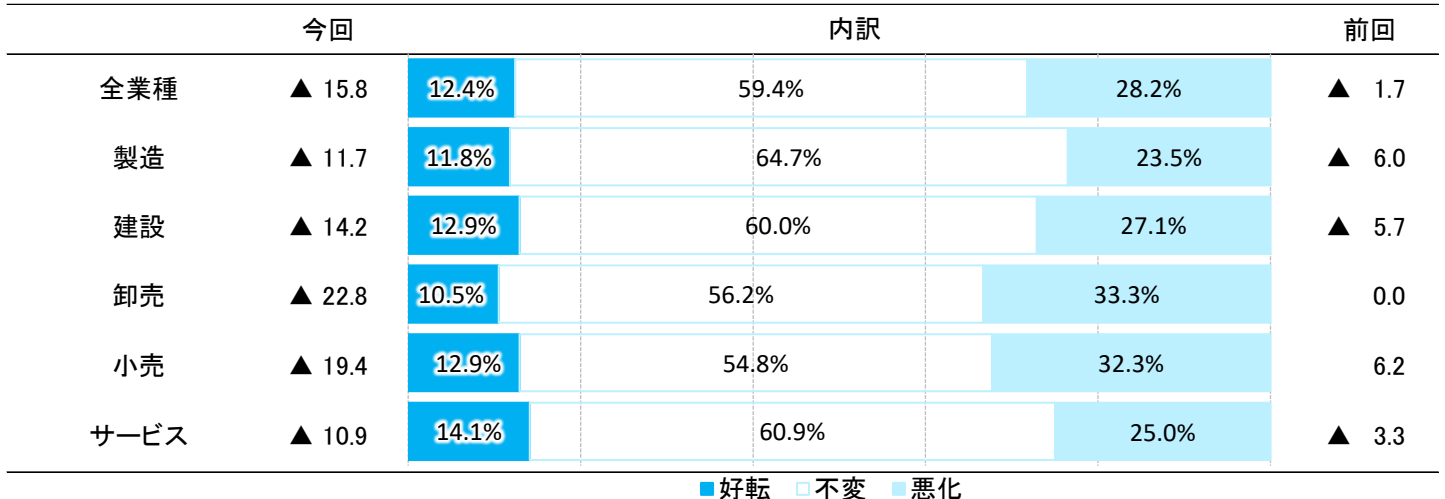
業種別D・I値



今期比

(2023年10~12月期の水準と比較した来期の見通し)

業種別D・I値



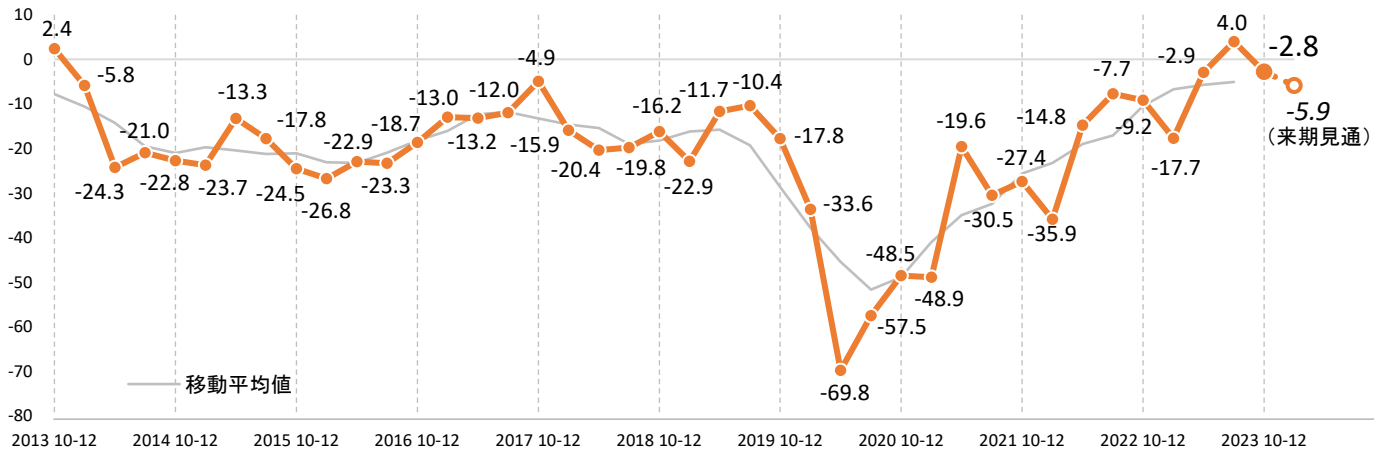
## Ⅱ. 売上高

### 1. 今期

前年同期比

(2022年10～12月期の水準と比較した今期の売上高)

全業種平均D・I ≪増加－減少≫



業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		増加	不変	減少	
全業種	▲ 2.8	30.5%	36.2%	33.3%	4.0
製造	▲ 1.7	31.6%	35.1%	33.3%	18.4
建設	▲ 27.7	18.1%	36.1%	45.8%	▲ 25.0
卸売	0.0	32.2%	35.6%	32.2%	1.7
小売	5.9	35.8%	34.3%	29.9%	12.1
サービス	9.8	35.0%	39.8%	25.2%	13.1

■増加 □不変 ■減少

前期比

(2023年7～9月期の水準と比較した今期の売上高)

業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		増加	不変	減少	
全業種	▲ 2.7	27.0%	43.3%	29.7%	1.2
製造	▲ 5.5	21.8%	50.9%	27.3%	3.5
建設	▲ 2.8	21.9%	53.4%	24.7%	▲ 10.7
卸売	▲ 1.7	33.9%	30.5%	35.6%	▲ 1.7
小売	4.4	31.3%	41.8%	26.9%	▲ 1.5
サービス	▲ 8.0	26.0%	40.0%	34.0%	16.2

■増加 □不変 ■減少

### 2. 来期

前年同期比

(2023年1～3月期の水準と比較した来期の見通し)

業種別D・I値

業種	今回	内訳			前回
		増加	不変	減少	
全業種	▲ 5.9	22.5%	49.1%	28.4%	▲ 2.1
製造	0.0	22.6%	54.8%	22.6%	0.0
建設	▲ 26.4	11.1%	51.4%	37.5%	▲ 21.1
卸売	5.3	28.1%	49.1%	22.8%	5.0
小売	▲ 7.4	26.9%	38.8%	34.3%	▲ 1.5
サービス	▲ 1.0	23.8%	51.4%	24.8%	7.2

■増加 □不変 ■減少

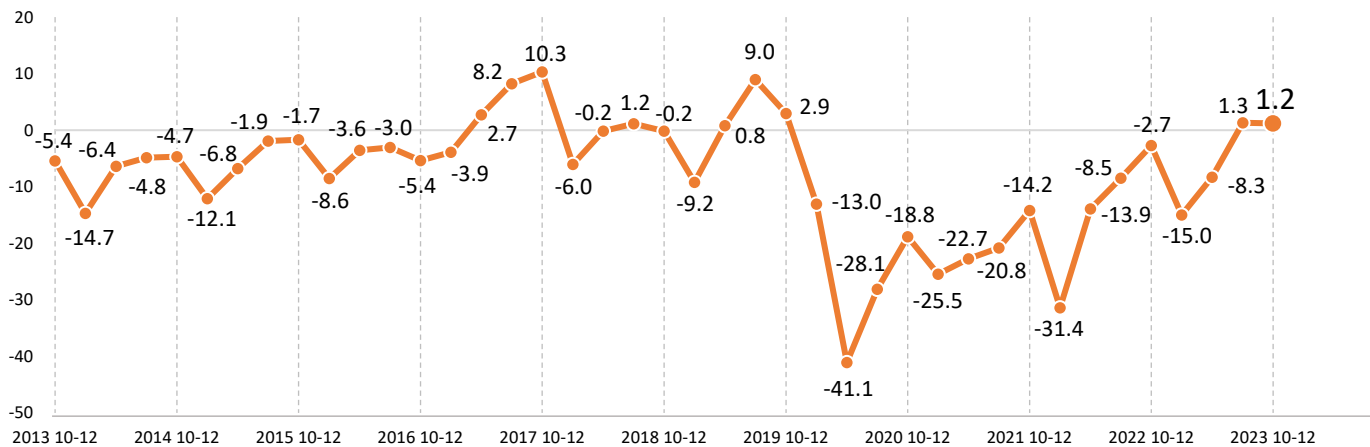
### Ⅲ. 採算(経常利益)

#### 1. 今期

今期の水準

(2023年10~12月期の水準)

全業種平均D・I ≪黒字-赤字≫



業種別D・I値

	今回	内訳			前回
全業種	1.2	24.3%	52.6%	23.1%	1.3
製造	3.5	22.8%	57.9%	19.3%	▲ 8.4
建設	12.5	29.2%	54.1%	16.7%	17.8
卸売	3.4	22.0%	59.4%	18.6%	▲ 1.7
小売	▲ 10.4	20.9%	47.8%	31.3%	0.0
サービス	▲ 2.9	26.5%	44.1%	29.4%	▲ 1.0

■黒字 □収支トントン ■赤字

前年同期比

(2022年10~12月期の水準と比較した今期の採算)

業種別D・I値

	今回	内訳			前回
全業種	▲ 15.4	17.3%	50.0%	32.7%	▲ 15.6
製造	▲ 28.5	16.1%	39.3%	44.6%	▲ 20.7
建設	▲ 20.6	12.3%	54.8%	32.9%	▲ 27.6
卸売	▲ 5.1	18.6%	57.7%	23.7%	▲ 20.0
小売	▲ 10.6	19.7%	50.0%	30.3%	1.5
サービス	▲ 12.0	20.0%	48.0%	32.0%	▲ 11.2

■好転 □不変 ■悪化

#### 2. 来期

前年同期比

(2023年1~3月期の水準と比較した来期の見通し)

業種別D・I値

	今回	内訳			前回
全業種	▲ 18.7	12.8%	55.7%	31.5%	▲ 15.1
製造	▲ 30.2	13.2%	43.4%	43.4%	▲ 20.7
建設	▲ 26.4	11.1%	51.4%	37.5%	▲ 23.7
卸売	▲ 7.0	10.5%	72.0%	17.5%	▲ 11.7
小売	▲ 16.9	15.4%	52.3%	32.3%	▲ 1.5
サービス	▲ 13.0	14.0%	59.0%	27.0%	▲ 17.7

■好転 □不変 ■悪化

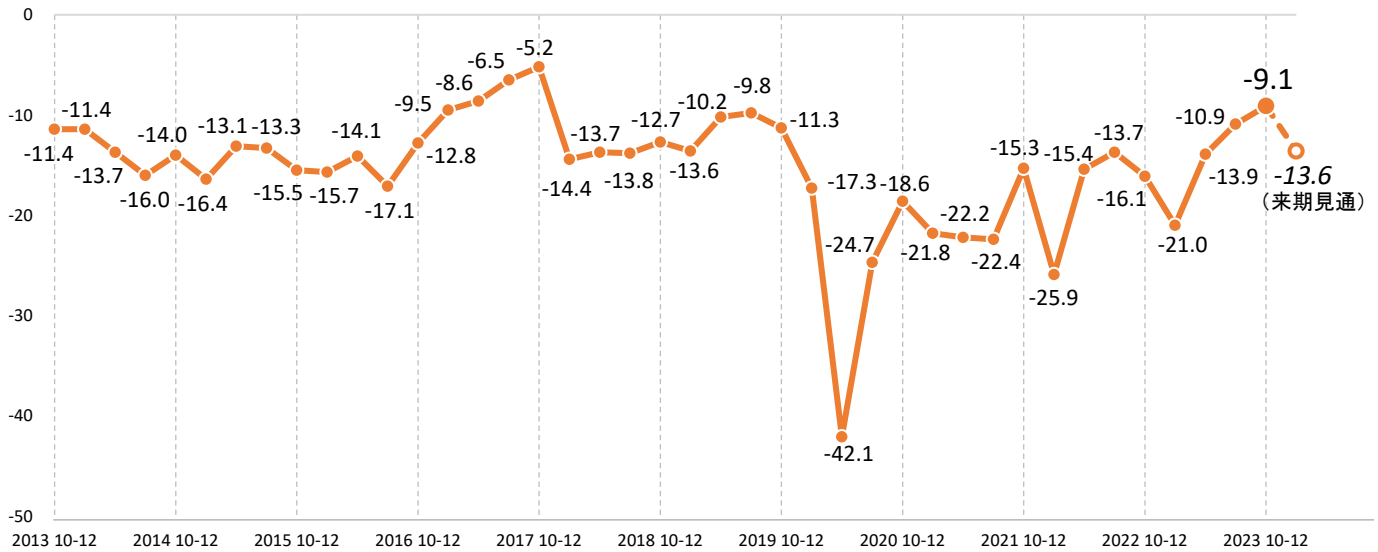
## IV. 資金繰り

### 1. 今期

前年同期比

(2022年10~12月期の水準と比較した今期の資金繰り)

全業種平均D・I ≪好転－悪化≫



業種別D・I値

業種	今回		内訳			前回
	値	変化率	好転	不変	悪化	
全業種	▲ 9.1	7.2%	76.5%		16.3%	▲ 10.9
製造	▲ 16.1	7.1%	69.7%		23.2%	▲ 11.8
建設	▲ 8.3	2.7%	86.3%		11.0%	▲ 12.0
卸売	▲ 3.4	10.2%	76.2%		13.6%	▲ 15.0
小売	▲ 13.6	6.1%	74.2%		19.7%	▲ 6.2
サービス	▲ 4.0	10.1%	75.8%		14.1%	▲ 9.3

■好転 □不変 ■悪化

### 2. 来期

前年同期比

(2023年1~3月期の水準と比較した来期の見通し)

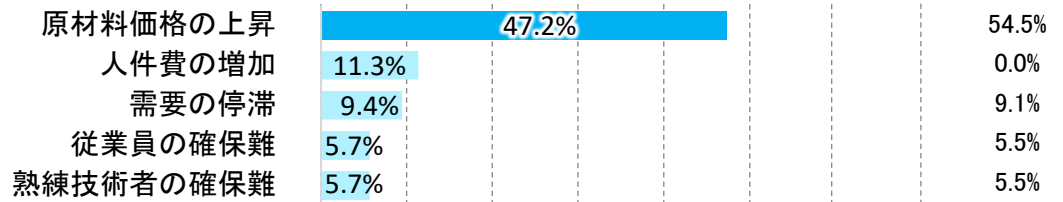
業種別D・I値

業種	今回		内訳			前回
	値	変化率	好転	不変	悪化	
全業種	▲ 13.6	4.9%	76.6%		18.5%	▲ 8.1
製造	▲ 18.8	3.8%	73.6%		22.6%	▲ 12.5
建設	▲ 12.5	4.2%	79.1%		16.7%	▲ 8.0
卸売	▲ 12.3	3.5%	80.7%		15.8%	▲ 6.6
小売	▲ 12.3	7.7%	72.3%		20.0%	▲ 6.2
サービス	▲ 12.3	5.2%	77.3%		17.5%	▲ 7.3

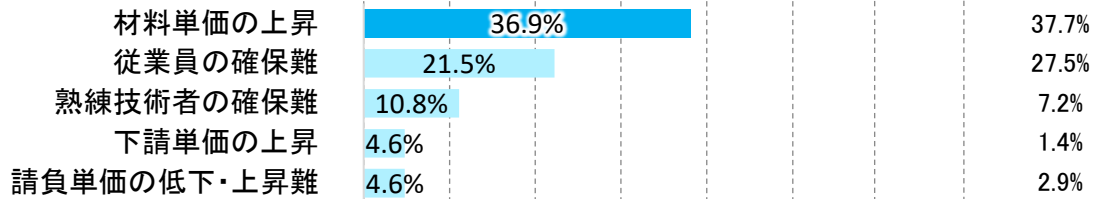
■好転 □不変 ■悪化

## V. 経営上の問題点(上位5項目)

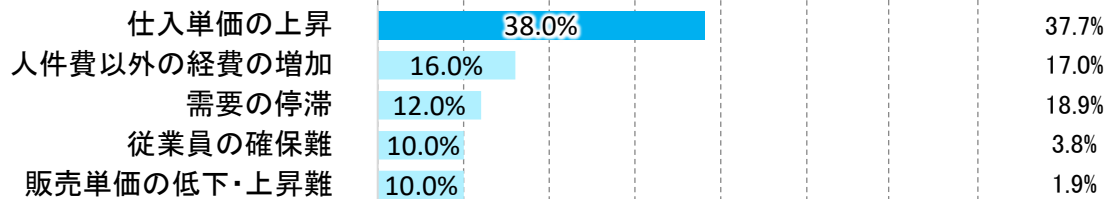
### 製造業



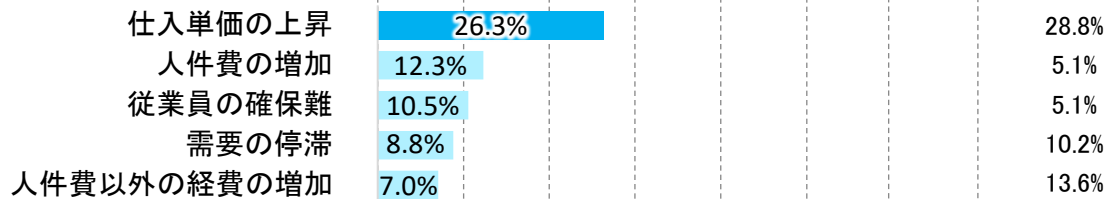
### 建設業



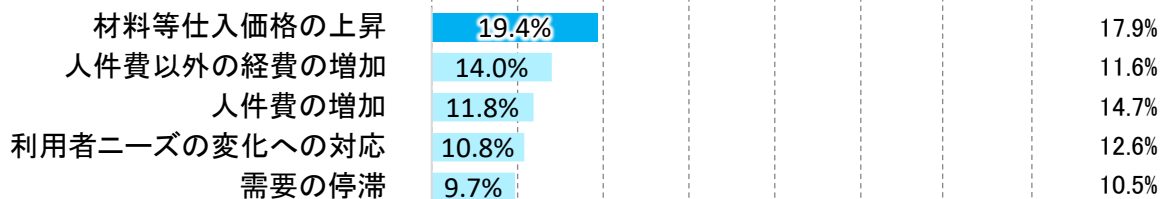
### 卸売業



### 小売業



### サービス業



## VI. 従業員の動向

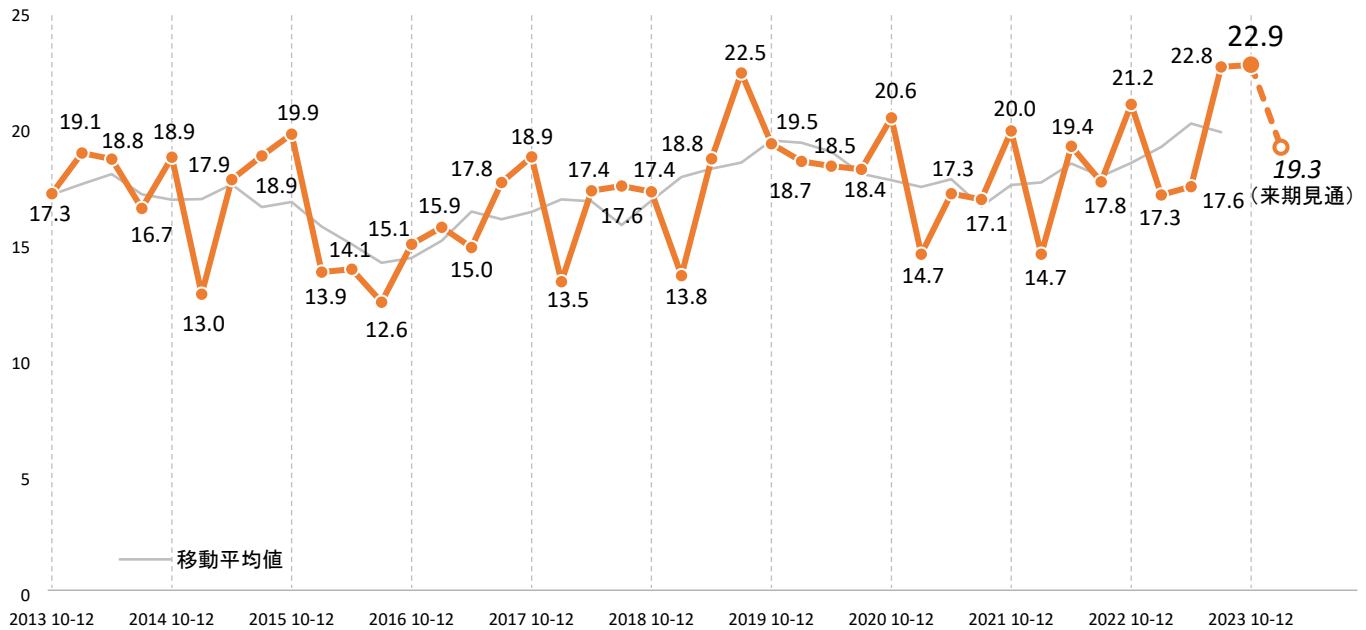
### 業種別D・I値

業種	今回		内訳		前回
	値	変動	過剰	不足	
全業種	▲ 29.8	1.3%	67.6%	31.1%	▲ 27.0
製造	▲ 27.3	1.8%	69.1%	29.1%	▲ 20.3
建設	▲ 47.2	1.4%	50.0%	48.6%	▲ 41.8
卸売	▲ 27.3	0.0%	72.7%	27.3%	▲ 33.3
小売	▲ 14.3	3.2%	79.3%	17.5%	▲ 9.5
サービス	▲ 33.0	0.0%	67.0%	33.0%	▲ 30.3

■ 過剰 □ 適正 ■ 不足

## VII. 新規設備投資

新規設備投資実施の動向(全業種平均%)



### 1. 今期

(単位%)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業
実施した	22.9	28.6	23.9	21.8	17.2	22.8
土地	9.5	0.0	17.6	16.7	9.1	4.3
工場建物、建物、店舗	23.1	18.8	29.4	0.0	45.5	21.7
生産・販売・サービス設備、建設機械	32.9	50.0	5.9	33.3	36.4	39.1
車両運搬具	31.3	18.8	29.4	41.7	36.4	30.4
倉庫・駐車場等の付帯施設	15.3	6.3	5.9	33.3	9.1	21.7
OA機器	32.5	25.0	41.2	25.0	36.4	34.8
厚生施設	1.8	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0
その他	7.3	6.3	0.0	8.3	0.0	21.7
実施していない	77.1	71.4	76.1	78.2	82.8	77.2

### 2. 来期

(単位%)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業
実施する	19.3	20.4	21.9	12.7	20.3	21.2
土地	15.1	0.0	12.5	42.9	15.4	4.8
工場建物、建物、店舗	21.3	9.1	18.8	28.6	30.8	19.0
生産・販売・サービス設備、建設機械	39.7	63.6	25.0	42.9	38.5	28.6
車両運搬具	32.0	9.1	37.5	57.1	23.1	33.3
倉庫・駐車場等の付帯施設	28.0	18.2	18.8	71.4	7.7	23.8
OA機器	30.3	36.4	31.3	42.9	7.7	33.3
厚生施設	5.1	0.0	6.3	14.3	0.0	4.8
その他	10.1	0.0	18.8	14.3	7.7	9.5
実施しない	80.7	79.6	78.1	87.3	79.7	78.8



# 製造業

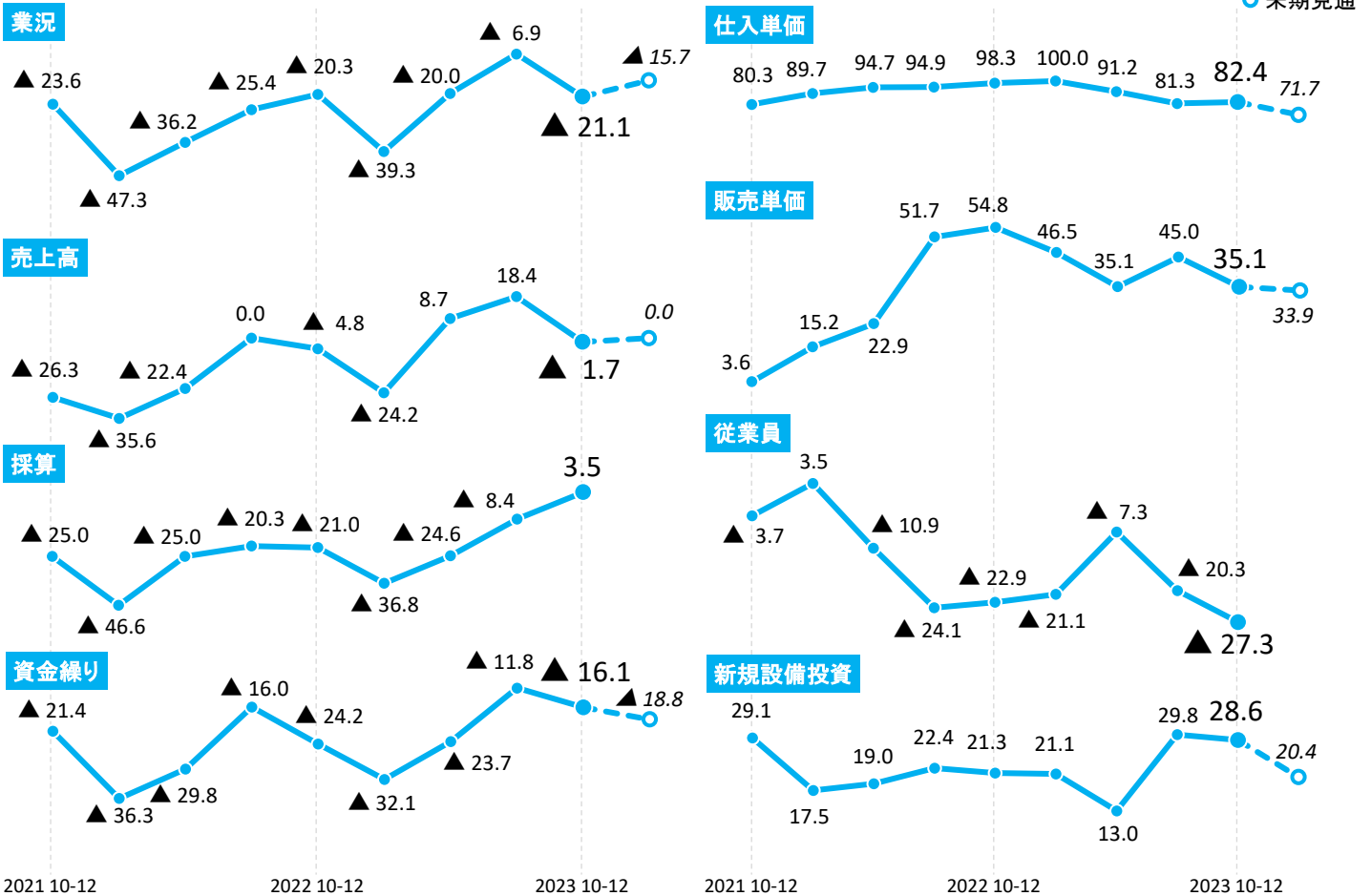
## ■主なコメント

- ・物価高騰による消費者の節約志向があり客足は鈍い。また、原材料の高騰もあり経営は厳しい。創業100年以上の老舗菓子店が年内で廃業する等、ここ数年で廃業する店舗が増えた。他業種でも廃業の話が出ている。 (菓子製造業)
- ・仕事のズレや遅れが深刻だ。ラピダス関連の案件が始まるが、札幌市中心部で白紙となった大型案件を補うまでには至っていない。 (金属製品製造業)
- ・昨年から離職者が増加傾向。アルバイトの採用によりしのいできたが、近時は募集しても応募自体が無い。2024年の新卒採用でも、現時点で内定者は大卒者1名。高卒者はゼロ。当面、人材不足が続く見込み。 (自動車・同付属品製造業)

## ■D・I

	2021 10-12	2022 1-3	2022 4-6	2022 7-9	2022 10-12	2023 1-3	2023 4-6	2023 7-9	2023 10-12	2024 1-3(見通)
業況 (前年同期比)	▲ 23.6	▲ 47.3	▲ 36.2	▲ 25.4	▲ 20.3	▲ 39.3	▲ 20.0	▲ 6.9	▲ 21.1	▲ 15.7
売上高 (前年同期比)	▲ 26.3	▲ 35.6	▲ 22.4	0.0	▲ 4.8	▲ 24.2	8.7	18.4	▲ 1.7	0.0
採算 (今期の経常損益)	▲ 25.0	▲ 46.6	▲ 25.0	▲ 20.3	▲ 21.0	▲ 36.8	▲ 24.6	▲ 8.4	3.5	-
資金繰り (前年同期比)	▲ 21.4	▲ 36.3	▲ 29.8	▲ 16.0	▲ 24.2	▲ 32.1	▲ 23.7	▲ 11.8	▲ 16.1	▲ 18.8
仕入単価 (前年同期比)	80.3	89.7	94.7	94.9	98.3	100.0	91.2	81.3	82.4	71.7
販売単価 (前年同期比)	3.6	15.2	22.9	51.7	54.8	46.5	35.1	45.0	35.1	33.9
従業員 (今期の過不足)	▲ 3.7	3.5	▲ 10.9	▲ 24.1	▲ 22.9	▲ 21.1	▲ 7.3	▲ 20.3	▲ 27.3	-
新規設備投資した割合	29.1	17.5	19.0	22.4	21.3	21.1	13.0	29.8	28.6	20.4

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。



# 建設業

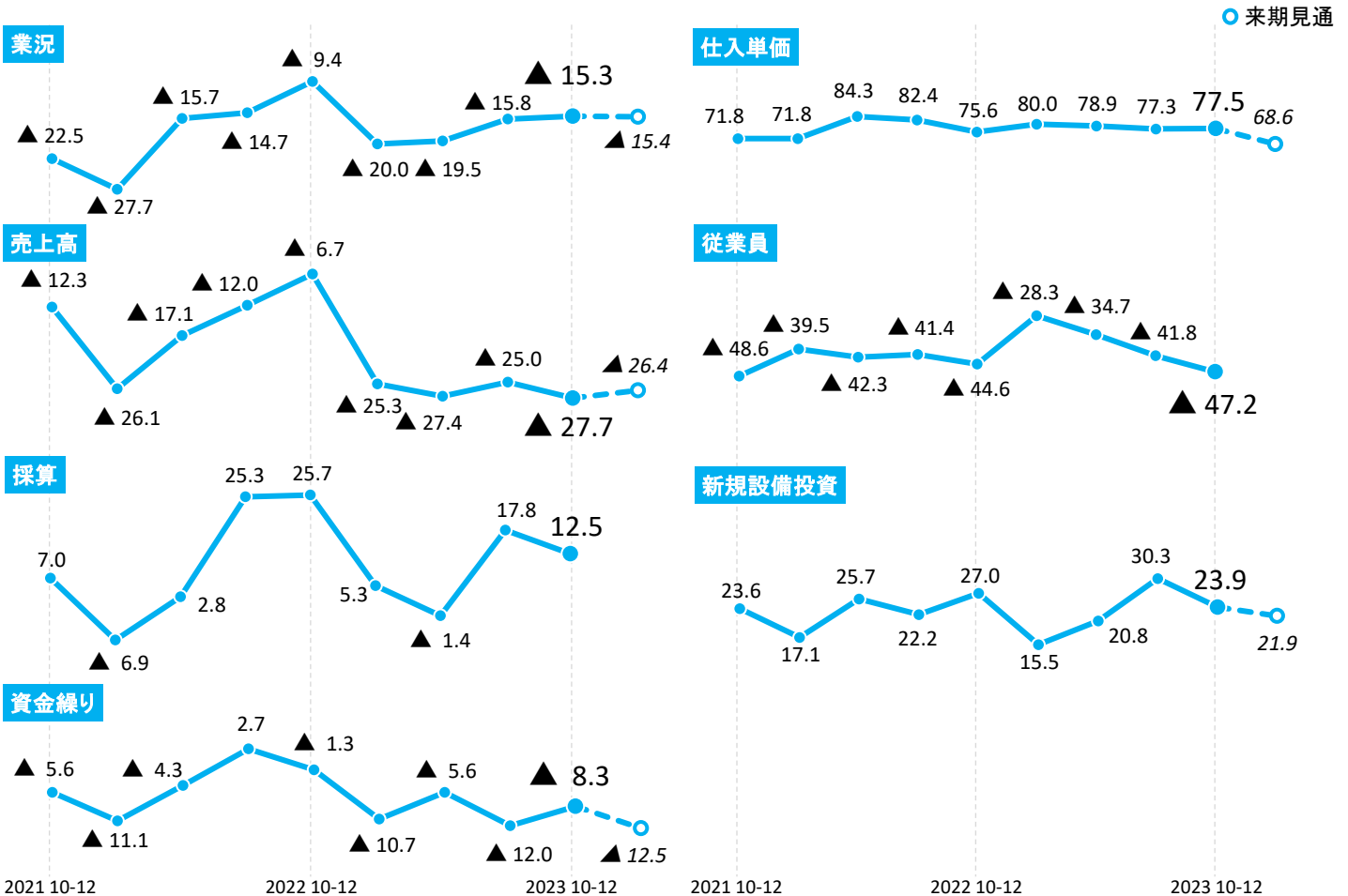
## ■主なコメント

- ・原材料・エネルギー価格高騰から建築を控える動きが出ている。早期着工を促すため建築予算に収まるようVE提案（質とコストの両方を意識した提案）を行い、施主の同意を得ながら進めている。（ゼネコン）
- ・最近、工事用電力ケーブルや通信ケーブルの不足が急に深刻化。納期の遅れや入手困難なものまで出てきている。今後の工事対応の遅れや受注済の現場での価格の上昇等、新たな心配事が増えました。（電気通信工事業）
- ・高齢の一人親方のような個人事業主は、インボイスの対応が負担。これを機に廃業や廃業検討中という相談を2～3件受けた。（建設業）

## ■D・I

	2021 10-12	2022 1-3	2022 4-6	2022 7-9	2022 10-12	2023 1-3	2023 4-6	2023 7-9	2023 10-12	2024 1-3(見通)
業況 (前年同期比)	▲ 22.5	▲ 27.7	▲ 15.7	▲ 14.7	▲ 9.4	▲ 20.0	▲ 19.5	▲ 15.8	▲ 15.3	▲ 15.4
売上高 (前年同期比)	▲ 12.3	▲ 26.1	▲ 17.1	▲ 12.0	▲ 6.7	▲ 25.3	▲ 27.4	▲ 25.0	▲ 27.7	▲ 26.4
採算 (今期の経常損益)	7.0	▲ 6.9	2.8	25.3	25.7	5.3	▲ 1.4	17.8	12.5	-
資金繰り (前年同期比)	▲ 5.6	▲ 11.1	▲ 4.3	2.7	▲ 1.3	▲ 10.7	▲ 5.6	▲ 12.0	▲ 8.3	▲ 12.5
仕入単価 (前年同期比)	71.8	71.8	84.3	82.4	75.6	80.0	78.9	77.3	77.5	68.6
販売単価 (前年同期比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
従業員 (今期の過不足)	▲ 48.6	▲ 39.5	▲ 42.3	▲ 41.4	▲ 44.6	▲ 28.3	▲ 34.7	▲ 41.8	▲ 47.2	-
新規設備投資した割合	23.6	17.1	25.7	22.2	27.0	15.5	20.8	30.3	23.9	21.9

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。



# 卸売業

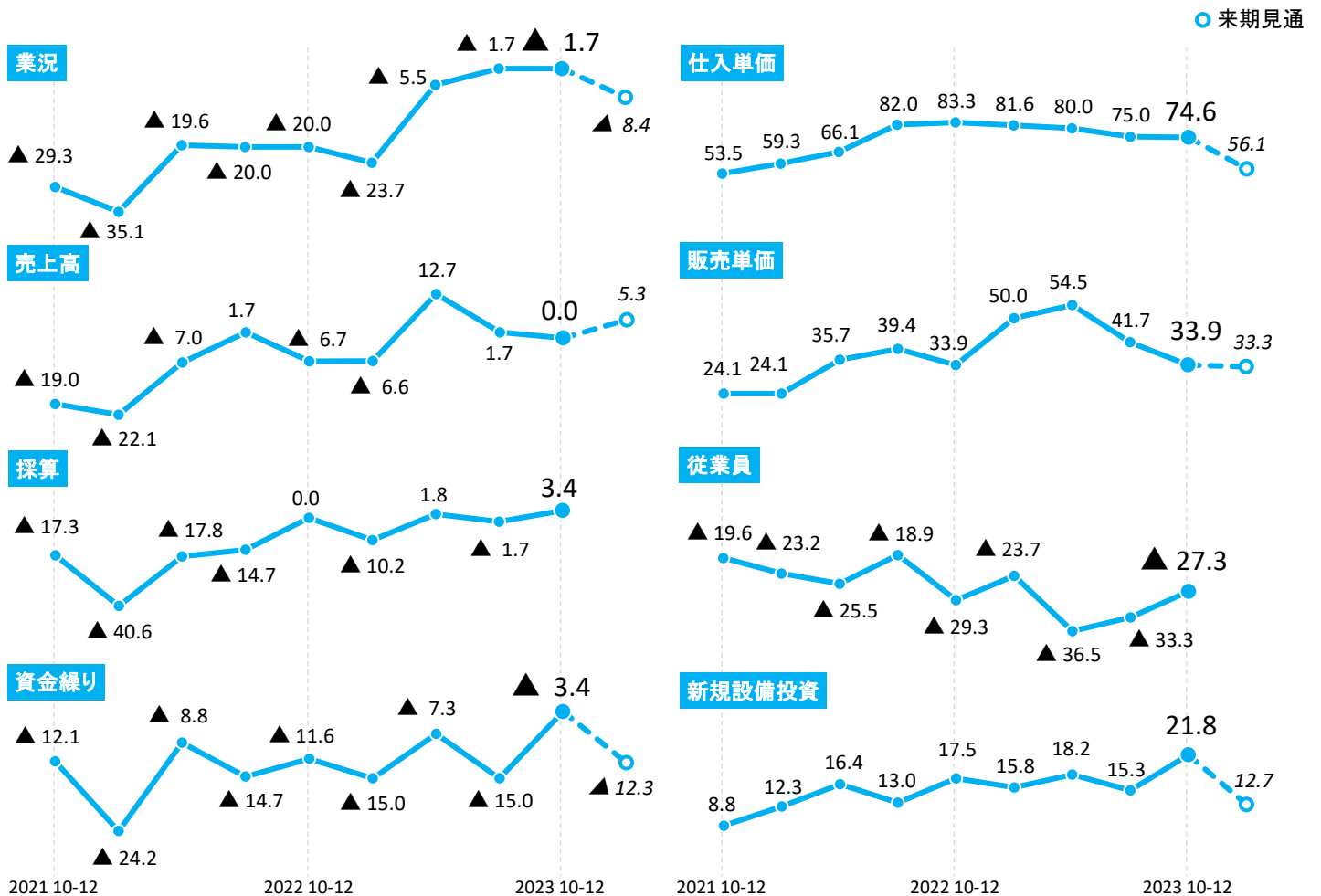
## ■主なコメント

- ・資材価格や物価の高騰等により新築物件は少なく、全体的に市況が冷え込んできている。例年に比べ見積りや引き合いが少なく、同業者も業況が落ち込んでいるようだ。(建築資材卸売業)
- ・業況は良くないが、売上面では好調な推移。しかし紛争などの世界情勢や解散総選挙など、先行きの不透明感がやや不安。従業員確保のため、人件費アップを実施していく。(化学製品卸売業)
- ・免税事業者にとってインボイス制度は足かせになっている。(販売先が自社の売上を抑制しようとするため)積極的に営業ができない。(食料・飲料卸売業)

## ■D・I

	2021 10-12	2022 1-3	2022 4-6	2022 7-9	2022 10-12	2023 1-3	2023 4-6	2023 7-9	2023 10-12	2024 1-3(見通)
業況 (前年同期比)	▲ 29.3	▲ 35.1	▲ 19.6	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 23.7	▲ 5.5	▲ 1.7	▲ 1.7	▲ 8.4
売上高 (前年同期比)	▲ 19.0	▲ 22.1	▲ 7.0	1.7	▲ 6.7	▲ 6.6	12.7	1.7	0.0	5.3
採算 (今期の経常損益)	▲ 17.3	▲ 40.6	▲ 17.8	▲ 14.7	0.0	▲ 10.2	1.8	▲ 1.7	3.4	-
資金繰り (前年同期比)	▲ 12.1	▲ 24.2	▲ 8.8	▲ 14.7	▲ 11.6	▲ 15.0	▲ 7.3	▲ 15.0	▲ 3.4	▲ 12.3
仕入単価 (前年同期比)	53.5	59.3	66.1	82.0	83.3	81.6	80.0	75.0	74.6	56.1
販売単価 (前年同期比)	24.1	24.1	35.7	39.4	33.9	50.0	54.5	41.7	33.9	33.3
従業員 (今期の過不足)	▲ 19.6	▲ 23.2	▲ 25.5	▲ 18.9	▲ 29.3	▲ 23.7	▲ 36.5	▲ 33.3	▲ 27.3	-
新規設備投資した割合	8.8	12.3	16.4	13.0	17.5	15.8	18.2	15.3	21.8	12.7

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。



# 小売業

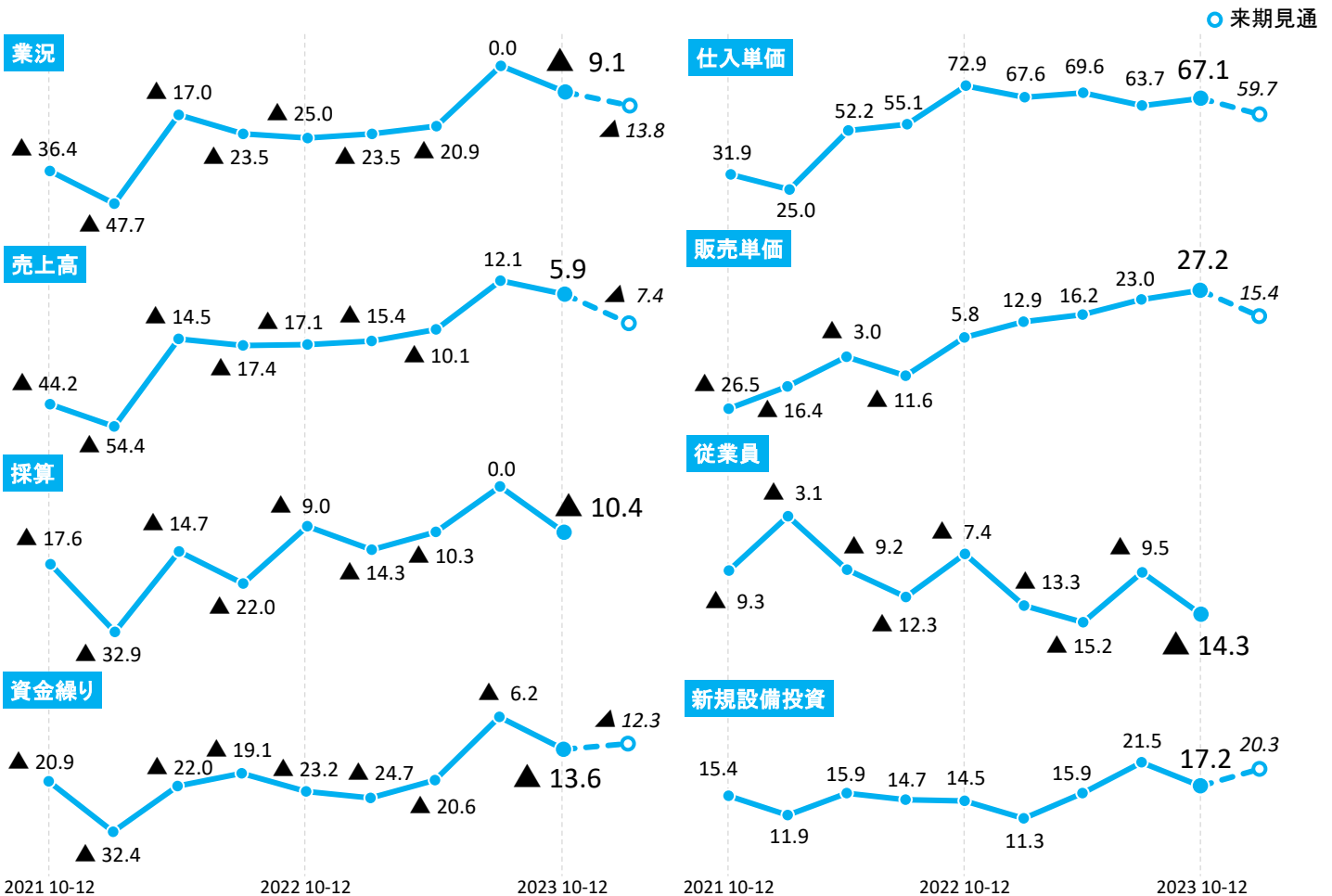
## ■主なコメント

- ・人通りが少なく、寂しいのが現状。年末に向け本来は賑わいを見せてほしいが、物価高騰の影響でお客様の消費意欲も低下していると感じる。仕入価格は値上がり傾向が続いている。(商店街)
- ・電気代急騰対策が喫緊の課題。10月からは最低賃金も4.3%引き上げとなった。また円安の副作用も大きく出てきている印象。コスト高・人件費増への対策で、顧客に理解を得られる範囲での価格転嫁を実施している。(食料品小売業)
- ・仕入価格に対する交渉は大変厳しいものになると思われる。一方で、価格転嫁のできる業態ではなく、国の動向による影響も大きいことから、見通しは全く明るくない。(医薬品小売業)

## ■D・I

	2021 10-12	2022 1-3	2022 4-6	2022 7-9	2022 10-12	2023 1-3	2023 4-6	2023 7-9	2023 10-12	2024 1-3(見通)
業況 (前年同期比)	▲ 36.4	▲ 47.7	▲ 17.0	▲ 23.5	▲ 25.0	▲ 23.5	▲ 20.9	0.0	▲ 9.1	▲ 13.8
売上高 (前年同期比)	▲ 44.2	▲ 54.4	▲ 14.5	▲ 17.4	▲ 17.1	▲ 15.4	▲ 10.1	12.1	5.9	▲ 7.4
採算 (今期の経常損益)	▲ 17.6	▲ 32.9	▲ 14.7	▲ 22.0	▲ 9.0	▲ 14.3	▲ 10.3	0.0	▲ 10.4	-
資金繰り (前年同期比)	▲ 20.9	▲ 32.4	▲ 22.0	▲ 19.1	▲ 23.2	▲ 24.7	▲ 20.6	▲ 6.2	▲ 13.6	▲ 12.3
仕入単価 (前年同期比)	31.9	25.0	52.2	55.1	72.9	67.6	69.6	63.7	67.1	59.7
販売単価 (前年同期比)	▲ 26.5	▲ 16.4	▲ 3.0	▲ 11.6	5.8	12.9	16.2	23.0	27.2	15.4
従業員 (今期の過不足)	▲ 9.3	▲ 3.1	▲ 9.2	▲ 12.3	▲ 7.4	▲ 13.3	▲ 15.2	▲ 9.5	▲ 14.3	-
新規設備投資した割合	15.4	11.9	15.9	14.7	14.5	11.3	15.9	21.5	17.2	20.3

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。



# サービス業

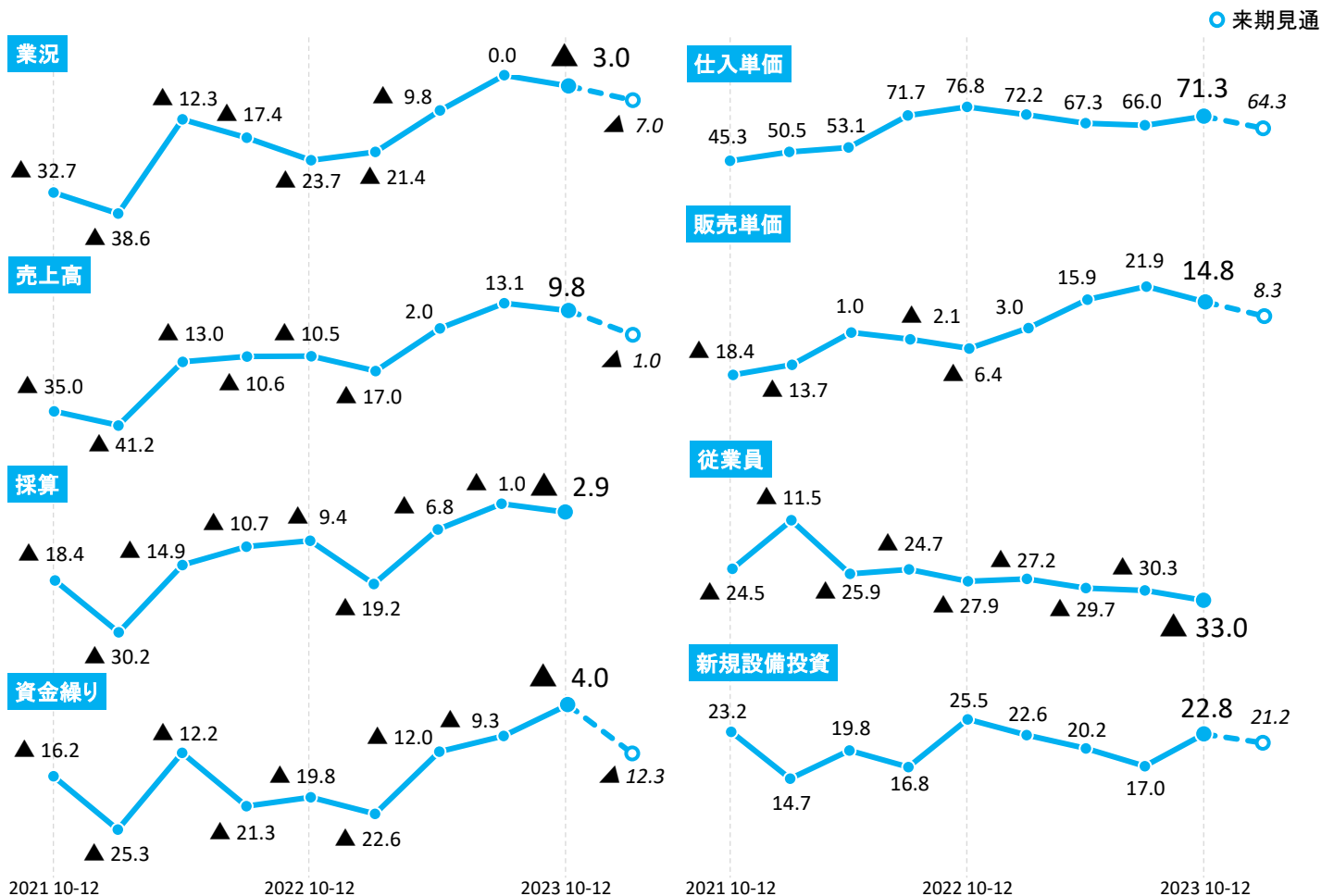
## ■主なコメント

- ・貨物取扱量などは例年並みで推移している。人材確保のため賃金の引き上げなどを進めているが、請求金額に反映できていないものが多いため、料金改定を継続していく。  
(道路貨物運送業)
- ・内航海運業で海技師免許を有する職員が急速に不足(特に500t未満の船舶)。採用が厳しくなっており、徐々に深刻な問題となっている。  
(その他運輸に付帯するサービス業)
- ・ロシア向け貨物の輸出規制や中国による海産物禁輸問題によって、輸出がなくなった事で売上が減少した。  
(港湾運送業)

## ■D・I

	2021 10-12	2022 1-3	2022 4-6	2022 7-9	2022 10-12	2023 1-3	2023 4-6	2023 7-9	2023 10-12	2024 1-3(見通)
業況(前年同期比)	▲ 32.7	▲ 38.6	▲ 12.3	▲ 17.4	▲ 23.7	▲ 21.4	▲ 9.8	0.0	▲ 3.0	▲ 7.0
売上高(前年同期比)	▲ 35.0	▲ 41.2	▲ 13.0	▲ 10.6	▲ 10.5	▲ 17.0	2.0	13.1	9.8	▲ 1.0
採算(今期の経常損益)	▲ 18.4	▲ 30.2	▲ 14.9	▲ 10.7	▲ 9.4	▲ 19.2	▲ 6.8	▲ 1.0	▲ 2.9	-
資金繰り(前年同期比)	▲ 16.2	▲ 25.3	▲ 12.2	▲ 21.3	▲ 19.8	▲ 22.6	▲ 12.0	▲ 9.3	▲ 4.0	▲ 12.3
仕入単価(前年同期比)	45.3	50.5	53.1	71.7	76.8	72.2	67.3	66.0	71.3	64.3
販売単価(前年同期比)	▲ 18.4	▲ 13.7	1.0	▲ 2.1	▲ 6.4	3.0	15.9	21.9	14.8	8.3
従業員(今期の過不足)	▲ 24.5	▲ 11.5	▲ 25.9	▲ 24.7	▲ 27.9	▲ 27.2	▲ 29.7	▲ 30.3	▲ 33.0	-
新規設備投資した割合	23.2	14.7	19.8	16.8	25.5	22.6	20.2	17.0	22.8	21.2

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。



## VIII. 調査要領

### 1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 2023年12月  
(2) 調査対象期間 2023年10～12月期実績及び2024年1～3月期見通し

### 2. 調査対象

#### (1) 中小企業景況調査

「製造業」、「建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、  
「卸売業」については、資本金1億円以下、または従業員100人以下の企業、  
「小売業」については、資本金5千万円以下、または従業員50人以下の企業、  
「サービス業」については、資本金5千万円以下、または従業員100人以下の企業を対象とした。

来期は新;

#### (2) 業界動向調査

道内各地商工会議所が地域の中小企業者との相談等により情報収集した特徴的事例。  
また、各業界組合・企業に対し独自に聞き取り調査を実施し、生の声を収集した。

### 3. 調査地域及び調査方法

全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施(中小企業景況調査)  
全道商工会議所を通じて地域の業界・組合等へヒアリング調査を実施(業界動向調査)

### 4. 業種別・規模別回答状況(社数)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
小規模	43	56	41	58	75	273
中規模	14	17	18	9	28	86
合計	57	73	59	67	103	359
構成比	15.9%	20.3%	16.4%	18.7%	28.7%	100.0%

#### 〈業界動向調査〉

ヒアリング先

製造業 40社、建設業 34社、卸売業 23社、  
小売業 29社、サービス業 44社 合計 170社

■過去の調査結果はコチラ



【URL】 <https://www.hokkaido.cci.or.jp/demand/research/>

#### D・Iとは…

本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、各調査項目についての増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)企業割合を差引いた値(景気動向指数)を示す。